4/25日 市緑化まつり

市役所・周辺で開催

市恒例の春のイベント「第20回海老名市緑化まつり」を、4月25日(日)に市役所および周辺で開催します。今回のメーンテーマは「一つでも多くの緑を育てたら　それは未来の救世主」です。緑化意識の高揚と緑化活動への参加の機会の場として開催します。ぜひご来場ください。

今回のメーンテーマ
一つでも多くの緑を育てたら　それは未来の救世主

◇内容は**右下表**のとおり＝各コーナーとも、緑化募金協力者が対象となる場合があります。

主なイベント

●緑化募金コーナー
会場で緑化募金にご協力いただいた方に、花の苗など（午前9時～）や、チップ・炭など（午前10時～）を配布（なくなり次第終了）。また、ミニロードトレイン等の乗車券を配布します。

●花と緑のコンサート
相州海老名東柏太鼓の演技、海老名市民吹奏楽団の演奏、海老名雑木林同好会による草笛演奏など。

●ふれあい花壇づくりコーナー
市民参加による花壇づくりを行います。

●花の里づくりコーナー
休耕田の一部を利用したレンゲ畑にミニ動物園を開設。花苗・肥料の配布も行います。

●緑化ポスター・緑の写真館展・表彰式
小・中学生・市民などから応募のあった、緑化ポスターと緑の写真館の入賞作品を市役所エントランスホールに展示します。
また、会場ステージで行われる表彰式では、緑化ポスター・緑の写真館の入賞者とともに緑化功労者の表彰も行われます（雨天の場合、市役所401会議室）。
問　公園緑地課緑化担当。

春恒例のイベントにご参加を（去年の会場から）

会場案内図

電車・バスでご来場ください
当日は、会場周辺の混雑が予想されます。駐車場には限りがありますので、ご来場には電車・バスをご利用ください。

時間	プログラム	
	ステージ	テント・広場など
7：00	準備	搬入、出店等準備
8：50	開会挨拶	
9：00	開会宣言（合図：花火）	野菜、野菜苗、鉢物などの物品販売（～15：00） 野草ウオッチング（～15：00） 花の里づくり（レンゲ畑・ミニ動物園、～15：00）
9：30	花と緑のコンサート第1部（～10：30）	木工教室とガーデニング（定員まで） 竹細工教室（定員まで） コサージュ作り教室 森遊びの楽しさを学ぶ（～15：00） ミニロードトレイン・こどもランド（～15：00） 地震体験（～14：30） 野草観察ハイク（10：30～正午）
11：00	森遊びの楽しさ（～正午）	
12：30	花と緑のコンサート第2部（～13：00）	
13：30	緑化ポスター等表彰式（～14：10）	
15：00	閉会挨拶	

※募金協力者に、花苗等（9:00～）、チップ（10:00～）の配布があります。なお、天候により催し物に変更または中止となる場合があります。

●緑化ポスター・緑の写真館展・表彰式
小・中学生・市民などから応募のあった、緑化ポスターと緑の写真館の入賞作品を市役所エントランスホールに展示します。
また、会場ステージで行われる表彰式では、緑化ポスター・緑の写真館の入賞者とともに緑化功労者の表彰も行われます（雨天の場合、市役所401会議室）。
問　公園緑地課緑化担当。

●ISO14001認証取得企業に助成金

市では、市内の環境保全と快適な環境の確保を目的として、ISO14001の認証取得を目指す市内企業を対象に、その取得を支援するための補助を実施します。
▽対象　平成17年3月31日までに審査および認証取得が完了する従業員数100人以下、市内で3年以上操業している事業所　▽助成金額　認証取得経費の2分の1（限度額50万円）。
※なお、この事業は予算がなくなった時点で終了します。
問　環境保全課ISO担当。

ご存じですか？災害・罹(り)災見舞金支給制度

市では、住民基本台帳または外国人登録原票に登録されている方が①国内で事故にあった場合『災害見舞金』を、②市内で発生した災害にあった場合『罹災見舞金』を支給しています。

①災害見舞金
事故発生から1年以内の申請が必要です。ただし、被害者に故意または重大な過失がある場合は、支給が受けられない場合があります。
▽対象　交通事故、火災および風水害により生じた事故での死亡または傷害　▽支給額（表1参照）▽申請書類　申請書・交通事故証明書・罹災証明書・死亡診断書または死体検案書・申請者と被害者の関係を証明するもの

②罹災見舞金
▽支給額（表2参照）
問　福祉総務課社会福祉担当。

【表1】災害見舞金支給額

	区別		支給額
弔慰見舞金	火災および風水害による死亡	主として生計を維持していた方	1,500,000円
		その他の方	750,000円
	交通事故による死亡	6歳未満	90,000円
		6歳以上20歳未満	180,000円
		20歳以上	270,000円
傷害見舞金	入院治療を要する傷害を受けたとき	入院5日まで	5,000円
		6日以上入院したとき	1日に付き1,500円（上限75,000円）

【表2】罹災見舞金支給額

災害の区分	見舞金の額	
	単身世帯	2人以上世帯
全焼・全壊・流失	30,000円	50,000円
半焼・半壊	20,000円	30,000円
床上浸水	10,000円	20,000円

●太陽光発電施設などに助成

市では、地球にやさしい社会の実現に向けて、市民のみなさんのライフスタイルや環境に対する意識の高揚を図るため、自然エネルギーを利用した太陽光発電施設や排気ガスのないクリーンな電気自動車、高効率の給湯器など環境にやさしい各種設備等の導入に対して、経費の一部を助成しています（下表参照）。
なお、この助成事業は予算がなくなった時点で終了します。
問　環境保全課環境政策担当。

助成内容一覧

種別		助成金額
雨水活用施設		設置費の3分の1、限度額1万円※雨水貯留タンク等
太陽光発電施設		発電能力1kwにつき3万円、限度額10万円
太陽熱利用施設		1施設につき3万円 ※不凍液などを強制循環する集熱器と集めた熱エネルギーを貯蔵する蓄熱槽により構成され、集めた熱を給湯・冷暖房等に利用するシステムを対象としています
風力発電施設		発電能力1kwにつき3万円、限度額9万円
低公害車		通常車との差額に0.2を乗じた額、限度額10万円 ※電気自動車・天然ガス自動車・メタノール自動車を対象としています（ハイブリッド自動車は対象外）
省エネナビ		購入価格の2分の1、限度額1万円
高効率給湯器	CO_2冷媒ヒートポンプ給湯器（エコキュート）	1施設につき2万円
	潜熱回収型給湯器	1施設につき3000円

印鑑登録証
お持ちの方へ

海老名市民カードへの交換のご案内

市への印鑑登録を平成8年11月以前に済まされた方がお持ちの「印鑑登録証」を、新しくて便利な「海老名市民カード」に替えてみてはいかがでしょうか。
カードを交換すると、市役所に設置されている自動交付機で印鑑登録証明書と住民票を取得することができるようになります。交付機は、申請書なしで、平日は午前8時30分から午後7時まで、閉庁日は午後5時まで利用できます。
市民カードへの交換は、「印鑑登録証」と認印、申請者本人と確認できる官公署発行の顔写真付きの身分証明書（運転免許証、パスポート、住民基本台帳カード等）を持参して市民課窓口まで。暗証番号登録のため、申請者はご本人のみとなります。
なお、官公署発行の顔写真付き身分証明書をお持ちでない方は、あらかじめ電話で問い合わせください。
問　市民課窓口担当。